

宇治情報

No.73

(体験集通算 423号)

宝蔵

二〇二一年の新しい文明の息吹

生長の家宇治別格本山理事・総務

堀 端 芳 樹

新年明けましておめでとうございます。

宝蔵会・オンライン宝蔵会の皆様方には、盂蘭盆供養大祭や新年祭、初午祭をはじめとして、生長の家宇治別格本山の諸活動にご協力を頂きますこと、心より感謝申し上げます。本年も昨年に引き続きよろしくお願い申し上げます。

今年の干支は、十二支は二番目の丑(うし)のとしであります。中国の歴史書『漢書』律曆志によると、

「丑」は「紐」「ひも」「曲がる」「ねじる」の意味)で、芽が種子の中に生じているもの、出かかっている表面に出てきていない状態を表



宝蔵神社新年祭

しているといわれていて、殻を破ろうとするいのちの息吹、希望を表します。

一方、干支(えと)の十干(じゅっかん)では、八番目の辛(かのと)にあたり、今年の干支は辛丑(かのとうし)ということになります。

「かのと」は季節でいえば秋の終わり頃にあたり、穏やかな衰退で植物なら枯れた状態にあり、実が地面に落ち次世代のタネを大地に還すところの、痛みを伴う幕引きといった意味であります。

従って二〇二一年の辛丑(かのとうし)のとしは、古い文明が穏やかに衰退し、痛みを伴う幕引きなり、新たな希望の命の息吹き的一年ということになるのではと思います。

前回の辛丑(かのとうし)の年は六十年前の一九六一年(昭和三十六)に当たります。この年の重要な出来事として、四月十二日

(次頁につづく)



にソ連の宇宙飛行士ユーリ・ガガーリン少佐が人類初の有人宇宙飛行に成功し、ボストーク一号に乗り込んで、一時間四十八分の地球一周飛行後「地球は青かった」の名せりふを残したニユースが世界を駆け巡りました。その後アメリカも有人宇宙飛行に成功し、世界の目は、宇宙に向けられるようになりました。

またその年に、日本の歌謡界では、

そのまま素直にありがたい

霊宮聖使命会事務部会員課

新宮

一

合掌ありがとうございます

頭注版『生命の真相』第四十巻一一七頁に以下の文章があります。

「家庭を光明化し人生を幸福に生きる秘訣は『そのまま素直にありがたい』という心を持つことであります。人生に悩みがあるのも、『そのまま素直にありがたい』ところの真実が解らな

坂本九さんの『上を向いて歩こう』がヒットしました。のちに世界でもヒットして、アメリカでは、『SUKIYA K』の名でヒットし、全米で一位になりました。さらにこの年高度経済成長の影響もあり、レジャーブームでスキーや登山が流行し、人々の目は山に向けられました。これらことから、辛丑（かのとうし）の年は、古い文明が衰退し、新しい事が始まろうとする

いからであります。」

毎月、個人指導で、皆様の相談を聞いていまして、この「そのままの状態を素直に、ただただ感謝して受ける」という生活が大切ではないかと感じています。

私自身、記憶に残る人生最初の悩みは、両親の不調和でした。そして、そこから派生してくるであろう、自己劣等感でした。自分に自信のない人間でした。

しかし、生長の家を母が信仰するようになつた影響で、私も生長の家に触れることになり、今では、ごくごく普

年、新たな希望の息吹く年として展開されるのではないかと思います。

コナ禍にあつて世の中は多くの人たちが、感染防止対策に追われて、視線が伏し目かちになっていますが、今一度目を上に向けて、新たな希望を胸に進む年、新しい文明の基礎の年として、出発したいと思しますので、本年もよろしくお願いいたします。

通の生活を「そのまま素直にありがたい」と思えるようになりました。

同じ四十巻一一二頁にて、

「夫婦が仲の悪い場合には、子供はどちらかに味方して一方の親を『頑固だ』とか、『我が強い』とか思って憎んでいるものなのです。子供は自分が親を憎んでいるということとを正直に自分の心に認めることを『道徳的気がとがめ』のために拒みます。それで表面の心では親を愛していると自認しつつ潜在意識では親を憎んでいるのです。そのために表面の心と、潜在意識との葛藤で子供は非常に心を苦しめ、

健康にも、境遇にも、性格にも、異常を来すようになりません。娘の縁談が遅れるということも苦しんでいる親たちが世間にあります。『親が望むような縁談のところへ行つてやるものか』というような反抗が起こって縁談が常に戻らぬこともあります。』

表面的に親に感謝しているつもりで

も、潜在意識で親を憎んでいると、縁談がまとまらないなどの行動をとることで、親に反抗することがあるということ。私も結婚を望みながらも、なかなか成就することなく歳を重ねていきました。六年前に宇治に来て、日々、神想親で両親への感謝と自己礼拝を続けて行く中で、潜在意識においても両親の

喜ぶ人生を送りたいという思いが出てきた結果、令和元年十二月に、現在意識も望む結婚を成就することができました。いかなる状態においても、「そのまま素直にありがたい」生活を送りたいものです。

明けましておめでとございます

今年一年、明るく悦びましょう!!

——宝蔵会・オンライン宝蔵会員の皆様へのメッセージ——

理事・練成部長

長田 忍



十一月講話の後。久しぶりに対面で個人指導をしました。「生長の家を信仰してきたのに、コロナに一喜一憂して教えがどこかに吹っ飛んで、心配と不安の毎日だった。今日の話も聞いて目が覚めました」と。

この話を聴き、皆さんのせひ何か力になりたいたいと思い、練成部員ひとり

人がメッセージを書きました。あなたと偕に今!! 覚悟します。何事が起ころうと。目の前にどんな暗い出来事が現れようと。また、テレビやネットから轟轟として流れ出る暗黒なるニュースが押寄せようと。

「必ず明るく希望をもって前進する」と、誓う!!

神の子の本心、わたしの本心は一瞬もひるむことなし。

嘆くことなし。

常に光明のみ見る。感謝のみ語る。歓悦巍巍たり。

コロナ禍にあつて今こそ、眞の信仰の底力を發揮する好機なり。

コロナ過にあつて今こそ、眞理に生き、たとえ眼前の重く冷たい鉛扉あるとも拓く絶好の秋なり。

コロナ禍にあつて今こそ、神の導きを全身心に享け、明るく前進し、行動とする時なり。



神とひとつと自覚し、内なる「光り」が遍く地上を照らすなり。神の子のいのちで天照すのだ。

ああ、ありがたきかな、幸いなるかなあ。

すべての人の幸せを祈るなり。

今・此処・天国を実現する言葉

絶対者と一体になる最高の神想観はただ一つ——しずかに坐して次の如く念ぜよ。

「吾が中に、神が今此処に、そして天国が今此処にある。」

(『日々読誦三十章経』より)

研修課課長

清水 志郎



新年明けましておめでとうございませう。

「自然と共に伸びる運動」、その真価が発揮される素晴らしい一年のはじまりです。宇宙の本源神たる天之御中主大神のいのち満ち渡り、「アー・オー・ウー・アー・イー」。「アー・オー・ウー・アー・イー」。天地万物を讃美する霊的言霊により、「自然即我・我即自然」の

自覚が悦び展開いたします。

地球生命に個の生命を融け込み、今ここに満たされている自然界の恵みを体感し味わうこと。自然界と呼応して生きることに。わが家でも、ノーマー卜料理を中心に、黒土微生物生ゴミ分解機、ペットボトル・缶やラップの削減、家庭菜園等々、地球生命とのムスビ合ひ、生かし合ひの実践をしています。この小さな実践とその感動の内に、神の子の自覚めがあるのです。

病気の悩み、人間関係の悩み、経済問題の悩み、そしてコロナ禍に関する悩み。如何なる悩みをもった方にも、「意識を地球生命まで広げること！今、この太陽の光を悦ぶこと！空気の有難さを味わうこと！周囲の草花の美しさに目を向けること！生命の神秘に感動すること！そこから必ず道は開かれること！」



と！、確信をもって伝えていきます。

地球生命と分離した個の救いなど存在しない。私自身も、やっと「ガッシーン！」と来ました。真実の個を超えた個の救いの世界、全の救いの世界を皆々様と共に歩んでいきたいです。

わが家の大自然！チビ助健真くんも益々元気に絶好調です！ありがとうございませう。

練成課課長

榎本 一子



新年明けましておめでとうございませう。

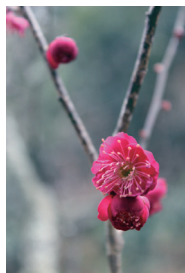
昨年は、年明け早々から新型コロナウイルス感染拡大のニュースが駆け巡り、緊急事態宣言、在宅勤務など、嘗て経験したことのない日々を過ごしました。第二次世界大戦の折は、幼いながら空襲も防空壕生活も、戦後の食糧不足も経験しました。台風や気象災害も経験したことはありませんが、今回のようなウイルスという目に見えないものに對して国を挙げて防戦するというのは、初めての経験でした。自分や身

内、周りの人の事も心配ではありましたが、それより、「これから日本は、世界はどうなっていくの?」という先の見えない不安は心から拭えないでおりました。

しかし、御教えの中で生かしていただいているお陰で、不安と恐怖に襲われそうな情報の中でも、実相独在・善一元の完全円満な世界こそ今在る世界と、実相を観ずる祈りは段々に深まっ

て行きました。朝目が覚めると、「今日も無事生かされていた!」目覚めと共に、有り難さは身に沁みます。早朝行事では私に関わる大切な人たちが、何事もなく無事であることの嬉しさ、有り難さは心一杯に満ちて…。

「何か起こっては困る」という心から「何があっても大丈夫!」の心によつと立ち戻れて来ている自分に小さく拍手を送っています。



給食課課長

藤本 和博



二十二才春、職場の人間関係に疲れ、料理人を辞め、大阪中央卸売市場でアルバイトを始めた。早朝四時から夕方まで。しかし、半年居てもやりがいを見付ける事は出来なかつた。ただ、自分は野菜を加工し、人を笑顔にする料理人が好きだという事に改めて気が付いた。

年末でアルバイトを辞め、岡山の実家に戻った。平成十七年一月十七日に就職の面接の予定があり、西宮に帰宅する予定だった。丁度その日阪神淡路大震災が起こった。岡山も震度五。かなり揺れたが、西宮があんな事になっ

ているとは…。一週間後に飛行機の手ケットが取れ、西宮に戻れた。自宅のあるアパートは、倒壊した高速道路の現場から原付で五分、綺麗にそのままの姿で残っていた。だがアパートの主柱が破損した為、全壊の判定。直ぐに電気は復旧したが、水道・ガスの見通しは立たず、大変な状況であった。コンビニには水やジュース、食料も全く

なかつた。だがビールだけは冷蔵庫の中にずらーと並び、美味そうに冷えていた。水分もカロリーもほぼお酒から摂取していた当時の私は、一人で、ビールを買い占めた。ビールがあれば、何も困る事はない。給水所には一度も行かなかつた。当時は本当に酒飲みで良かったと思っていた。体が水など欲しがらなかつた。

翌月二月には片付けも一段落し大阪で就職が決まり、いつしか店は行列の出来る店になっていった。人間関係で悩み、震災も経験したが、いい仲間達と出会い、料理人の喜びを再び取り戻した私は、仏国留学するまで約七年間その店で修行した。

酒しか飲まず、身体がほぼ酒で出来ていた私が、宇治の一般練成会受講により浄まり、アルコール依存症が治つた。それは、今まで体験した事のない体験であった。様々な体験を通して「何があっても必ず良くなるんだ!」と心から思うことが出来た。「生かされてくるんだ」と只々感謝しかない。宇治に導いてくれた御先祖様と、母に心から感謝している。

研修課主任

岡田 浩二



昨年のコロナ禍は宇治別格本山にも大きな影響を及ぼしました。研修生活も一時中止となったり、リモート研修になったりと、様々な変更がありました。仕方ないとはいえ、研修生のことを考えると「可哀そうかな」と思いました。

しかし、研修生は悩みながらも、その状況を受け入れ、切り替えようとしていました。これはいつも研修生に言う「ハイと感謝で受け取る」ことの実践でした。

さらに、自習のような時間が増える中、研修生は自分で何をすれば良いか考え、実践していきました。私は研修生には「神の子として、自分で、考えて行動できるようになって欲しい」と思っています。研修生活で神の子を生きていくことにより、その基礎を身に着ければ、どこに行っても明るく前向きに生きていくことができるかと確信しています。

コロナ禍における研修生活は、研修

生に自立して考え、行動する機会を与えてくれます。

た。研修生に神の子としての生長を促してくれたのです。
現象は実在するものではなく、実相は完全円満です。どんなときでも、神は愛で導いてくれています。コロナ禍における研修生活も、可哀そうなものではなく、神の愛による導きでした。



現象は実在するものではなく、実相は完全円満です。どんなときでも、神は愛で導いてくれています。コロナ禍における研修生活も、可哀そうなものではなく、神の愛による導きでした。ハイと感謝で受け取り、神の子として出来ることを実践した研修生は、神の愛を実感して生長していったのです。

私も、研修生からハイと感謝で受け取ること、全ては神の愛の導きであることを学ばせていただきました。

研修生活は神の愛の導きのもと、いつの時代も、一番相応しい環境で、一番相応しい研修生が集まって魂を磨き合っています。コロナ禍において、このことを改めて実感させていただきました。今年もこの素晴らしい研修生活を、一人でも多くの方に体験してほしい

と思います。その生活に携わらせていただけるの身に感謝し、今年も精進していきたいと思っています。

☆現在は、感染予防対策をしつかり取った上で、従来に近い形で実施しています。感染予防のために人数制限はしていますが、研修生の募集は続けます。お気軽にお電話ください。

練成係

千羽 真平



新年あけましておめでとうございませう。昨年は生活も、仕事も、人との関わり方も、何もかもが変化した一年となりました。この状況から何か学び、感謝していくことが生長かと思ひ、あれこれ理屈や感謝をつけて、安心しようとしている心になっていました。

そして先日、命日供養祭のために神官装束に着替えて拝殿へと歩いていました。これから神様に仕えるのだから恥ずかしくないように…と意識していると、ふと内側からコトバが浮かんできました。「…今だけかね?」と。それは少し呆れたような、とても愛深い

響きでした。「神殿の前、装束に袖を通したとき、そんな時だけそばにいるつもりか？神社の中や仏壇の前だけでなく、その草木も木も私だよ。廊下も柱も私だよ。何よりお前が私自身だよ。その身体が私そのものなのだよ。片時も離れた時などないし、離れようと思っても離れることのない私とお前なのだよ」と。内側から温かいものに包まれるような安心した気持ちで、供養祭の聖經をお誦げすることができました。「神合一」という言葉がもつともっと身近なものになりました。現象と見えるものをただ現象と捉え、何とか感謝しようと取っ組み合いをしていないか、いつでも本当は「現象はない」、ここを通った上で、ただ在るものが在る。私がどんなに迷おうと、変わらず在り続けているものにちゃんと焦点合わせて生きていきますように。そして目の前の人に、草木に、なにより自分自身に對して、神前と同じ



心で毎日を送れますように。
今年もよろしくお願いいたします。

練成係

新田 晃子



新年明けましておめでとございませう。
す。

昨年三月に練成会が中止となり、あつという間に一年が過ぎてしまいそうです。当初ここまで長期に渡るとは思っていませんでした。この間「練成会に行けなくなつて寂しい毎日です。私はインターネットに疎いので、『宝蔵』が届くことだけが楽しみで、中の文章にいつも元気をもらっています」というお電話をいただきました。どんなに心細い毎日を送られているのだろうと、胸が締め付けられる思いになりました。私も実家に帰られないまま一年が経とうとしていますが、電話の方と同じく、孤独感に包まれ急に寂しさが溢れてくることがあります。そのよくな時いつも『新天新地の神示』に何度も救われましたのでその中の一文をご紹介します。

「……………なんじ一人ならば吾れを念じて吾れとともに二人なりと思え。なんじら二人ならば、われを念じて吾れとともに三人と思え。悩める者よ、わが言葉を読めば苦しめる魂も慰めを得ん。そはわれは限りなき大愛であるからである……………」神様は常に、内にも外にも満ち満ちておられ、私は独りじゃなかったと思い出す度、大愛に護られていることへの心強さを感じます。信仰心があつてよかったと思つ瞬間でもあります。練成部では毎朝長田部長先導のもと宝蔵会・オンライン宝蔵会の皆様の実相顕現をお祈りさせていたれています。いつもいつも神様の御手に抱かれている皆様が、今年もお一人お一人幸多き一年となりますようお祈り申し上げます。

(10ページに続く)



2021年1月講話 予定

1月31日			1月30日			1月24日			1月23日			1月17日			1月16日			1月16日			日時		
日			土			日			土			日			土			土					
14 .. 15 .. 14 .. 45	13 .. 00 .. 14 .. 00	12 .. 00 .. 13 .. 00	11 .. 00 .. 12 .. 00	14 .. 15 .. 14 .. 15	14 .. 00 .. 14 .. 15	13 .. 00 .. 14 .. 00	14 .. 00 .. 14 .. 00	14 .. 00 .. 14 .. 00	13 .. 00 .. 14 .. 00	14 .. 00 .. 15 .. 00	14 .. 00 .. 15 .. 00	13 .. 00 .. 14 .. 00	14 .. 00 .. 15 .. 00	14 .. 00 .. 14 .. 00	13 .. 00 .. 14 .. 00	14 .. 00 .. 14 .. 00	13 .. 00 .. 14 .. 00	14 .. 00 .. 14 .. 00	13 .. 00 .. 14 .. 00	14 .. 00 .. 14 .. 00	13 .. 00 .. 14 .. 00	聴講希望者20名迄は二密を避け感染防止対策を行った上、参加できるようにしています。 ※前日迄に予約してください	
祈り合いの神想観 実修	祈り合いの神想観 説明 昼食・休憩	深切の生活を生きよ 昼食・休憩	背水の陣を布け 昼食・休憩	神の子の自覚に超入せよ 昼食・休憩	浄心行実修 父母の愛に生かされて 昼食・休憩・浄心行用紙記載	浄心行について ひとの生命の実相を礼拝せよ 休憩	真理を家庭で生きるには 休憩	日時計主義の生活 基本的な神想観 実修 昼食・休憩	朝の時間を生かせ・朗らかに笑って生きよ 聖経『天使の言葉』	先祖・流産児供養祭 神想観説明と実修 総合 休憩	実相と現象 講話のテーマ&行本山内テレビ放映・全館放送	榎本一子	千羽真平	長田忍	岡田浩二	清水志郎	榎本一子	千羽真平	清水志郎	榎本一子	大拝殿 岡田浩二		長田忍

◆ 講話に参加される皆様へのごお願い ◆

合掌ありがとうございます。

第3波の新型コロナウイルス感染に歯止めがかからず、増加傾向にあります。

感染防止を十分にはかった上で講話を行っていますが、参加される方には下記の事項を必ず守って頂きますよう、ご協力お願い致します。

なお、守って頂けない方は申し訳ございませんが、来られても参加をお断りしています。

1) 前日迄に必ず予約を済ませてください

先日、急遽事前予約なしで来られた方が7名もおられ、定員オーバーとなりました。練成会は予約や定員なしに参加できましたので、従来通り参加できると思われたのでしょうか。しかし、コロナと共に生きるウィズコロナの時代となり、状況が一変しています。ウィズコロナに合わせて講話も予め人数に合わせて会場の準備をし、消毒や換気など感染防止を第一に徹底しております。また、大人数にならないよう参加人数を20名迄の上限を設けております。三密にならないよう皆様に安心して聴講頂けるように配慮しておりますので、どうぞご協力ください。

◆ お申込み方法

電話 0774-21-2153 (練成部) または Facebook か ホームページの申し込みフォームにて、お名前・県名・電話番号・参観ご希望日をお伝えください。

- ・奉納金・・・大人・・・1,500円/子供(3歳～12歳)・・・750円
- ・宿泊・・・できません
- ・参加定員・・・20名迄

2) 下記に該当する方は参加できません

- ・基礎疾患・・・糖尿病・心不全・呼吸器疾患(COPD等)・透析を受けている方・免疫抑制剤や抗がん剤を用いている方)をもった高齢者は参加をご遠慮ください。
- ・体温・・・37度以上の方はご遠慮ください。
- ・体調・・・息苦しさ・咳・だるさ・軽い風邪症状等、当日体調不良の方は参加をご遠慮ください。

3) 本山内でのマスクの着用、手指消毒や手洗いを必ずしてください

先日、NHKの番組で感染予防のためにマスク着用は97%の予防効果が期待できると放送していました。コロナに感染しない(コロナにうつらない)だけではなく、気づかずにコロナに感染している人がコロナウイルスをまき散らさない(コロナをうつさない)ために、非常に有効な手段であることが検証されています。マスクは必ず着用してください。

4) マイ箸、マイボトル、マイハンカチをご持参ください

5) 受付を済ませてから会場にお入りください



受付係

平川 和子



春先コロナ禍のため三月短期練成会が中止になり現在に至っています。思いもよらぬことで驚きましたが、練成部では早速道場内の大掃除を始めました。事務所内の机やラック等を全部出して床のワックスがけ、また長年の書類など不要と思われる物を全部処分しました。

この時、物を捨てきれないことについて長田部長が「今までこうだったからこれからも、或いはこれから先使うかもしれない、必要なときが来るかもしれない」と執着するでしょ。今までの因習を踏襲していませんか？意識を変えましょう。」とおっしゃいました。この掃除のことに限らず、日常生活の全てにおいて当てはまることだと思えました。現在意識では良かれと思いがらも、無意識のうちに自分だけの裁量や価値観をもって物事を判断してしまっていたことに気づかせていただきました。意識をもっと広く深く拡大しよう、そして真価値を探っていくこと

決めました。

穏やかな日を訪れるまでもうしばらく、練成会が再開されまして皆様にお会いできる日を楽しみにお待ちしております。

受付係

佐田味 朝子



ある日、長田部長から宝蔵会員の方達に励ましの文章を書いてくださいと言われました。

私達の文章で皆様が元氣になられる事は大きな喜びではありますが、もうひとつ大切な事があります。宝蔵会・オンライン宝蔵会員・練成会の皆様の笑顔で私達も元氣にさせてくださいという事です。

私が落ち込んでいるとき、何かにまずまっている時、不思議に何のご縁でしょうか、ご自分の深い信仰を私に話してくださいる方がいます。優しい笑顔を私に向けてくださる方がいます。もしかししたら、神様が私に遣わせてくださったのではないかと思いがら、そ

先日、「講話」の長田部長の祈り合

いの神想観に出席させていただきました。最初からなぜか涙が出てきました。今の私の内には何も無いと思っていたのに、そんな私に祈る事が出来るだろうか、そう思っていました。でもそうではなかった。私の中に全てがあり、神様の愛があるからこそ、こうして祈りを伝える事ができるのだ。そう思いました。祈り合いの神想観が終わった後は、何とも言えない爽やかな清々しい気持ちになりました。

宇治は秋も深まり、素晴らしい色彩を見せてくれます。「あなた達を生かしているのは私だよ。」神様の声が響いています。これからも皆様と共に私の内なる思いを表現させていただきたいと思えます。

受付係

上山 万貴子



コロナ禍は私達の生活を大きく変え、三月から練成会は中止、五月には外出自粛の要請がありました。

私には、基礎疾患（特発性血小板減

少性紫斑病(難病)があり、自宅マンションにも帰れない状況を余儀なくされました。

そんな自粛生活も一か月が過ぎた頃、ふっと「私には、マンションはもう必要ない」という気がして、思い切って六月末に賃貸マンションを引き払い、経済的負担となっていた寮との二重生活にピリオドを打ちました。

また、コロナ対策に車が必要と思っていたら、偶然立ち寄った中古車屋で、可愛くてコスパが最高の車を見つけました。車のナンバーも全て神様にお任せしたら：2539「ニコッ!」サンキュー!」で、笑顔と感謝の番号が与えられ、榎本課長に「あなたの所へ来るようになっていたのよ。開運の車よ!何でもそうなのよ」と嬉しいお言葉を掛けていただきました。

私は、奉職してからも何度も難病が再発し、緊急入院となっていたのですが、今年、コロ



ナ対策に伴う業務体制の変更で、時間的・精神的に余裕が生まれ、早い段階で検査を受け、早朝行事等を休ませていただきながら養生ができ、お陰で入院治療することなく自力で回復しました。只々感謝しかありません。善いことばかりの世界!絶対善くなる!善くなるしかない」と信じて、目の前にあることを精一杯努力していこうと思えます。

受付係

湯浅 ますみ



最初に今回コロナにて大変な思いをされた全ての方々へ、心よりお見舞い申し上げます。

お互いに大変な時期ではありますが、明けない夜は無いとも申します。もう少し時間は掛かるでしょうが必ず日は昇ります。一番良くなります。いずれはインフルエンザの様に人と共生した存在になっていくと思えます。早く穏やかな日常生活に戻ってほしいですね。良い面を上げれば今回コロナの流行により今迄の当たり前の生活が、いか

に有り難く恵まれた生活であったか気が付く事が出来ました。FacebookやZoom等も覚える事が出来、以前よりデジタル、オンライン等が世の中に浸透してきたとも思えます。

今は、新しい生活様式や新しい時代への転換期なのかとも思いますが。今後は物の見方や考え方、価値感がどんどん変わっていくのかも知れません。どんな時代が来るのか何かワクワクしませんか?自分なりの喜びは、その人中で必ず見つける事が出来ると私は思っています。どんなに光が見えない中に有っても。だから今を喜ぶように心がけて生きて行こうと思えます。泣いても怒っても悩んでも。次の瞬間には顔を上げて光の方を向く様に心がけます。「嬉しい、楽しい、ありがたい」を口癖に。

受付係

澤田 麻衣



二〇二〇年一月、幽斎殿で、新春の書初めをしました。くじで出た言葉は「素直」。「感謝」など真理の言葉が出

るのを期待していたのですが、気を取り直し「今年は「素直」をテーマに生きていこう」と筆に想いを込めました。

そんな矢先に、世界中で新型コロナウイルスの感染が拡大し、私達の日常生活はガラッと姿を変えました。マスクを着用し、三密を避け、どこへ行っても人と人との間に仕切りがされました。感染者の中には重症化して死に至るケースや、コロナによって仕事を失い、路頭に迷って自殺する人もいました。殺伐とした状況の中で、私は為す術もなく、心はいつもざわざわしていました。

ある朝の神想観中のことです。頭の中に、言葉が次々と浮かんできました。「大丈夫。安心して。あなたを襲うものなど何一つ存在しない。素のまま（そのまま）の自分で真っ直ぐに進むだけ。これが「素直」に生きること」そうだったのか！「素直に生きる」。これほどの真理の言葉はありませんでした。私の本質は神の子なのだから、そのまま心に浮かぶことを行いながら生きるだけでよかったんだ！今与えられた場所で、私にできることはたくさん

ある！そのように決意した瞬間、私の心の霧は晴れ、また平穏な生活が戻ってきたのでした。

給食係

梅田 勉



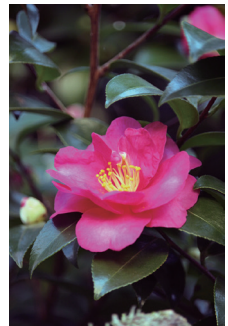
コロナ蔓延の世界どうお過ごしでしょうか？何となく陰気臭くなったように毎日を過ごしておられますか？

いえいえ、神の子の私達は今生かされている素晴らしい世界を生き生きと過ごしておられることでしょう。

私はこのコロナによって、素晴らしくプレゼントを神様から頂きました。それは一日のうちで最も大切な、最も重要な時間です。

私は練成部給食課にて奉職させてもらっております。コロナによって練成会が中止になり、朝食の支度もなくなりました。私の課では、早朝行事をなかなかフルタイムで受ける事、「行」ずることができませんでした。しかし、今このコロナの影響で早朝行事を最後まで受けることができます。

私は本山に奉職させてもらう以前に



度々練成会に参加させてもらっておりました。その頃は日帰りであれ、泊りであれ、早朝行事を受けたいためバイクに乗り、まだ電車も走っていない時間に家を出て参加させてもらっていました。

今、早朝行事がライブ配信される中、以前練成会で一緒だった信徒さんより、「梅田さんや本山の方々はいいですね、毎日、毎朝、いつも早朝行事を大拝殿で受けられて…」と、言われました。この言葉をお聞きした時に、早朝行事はなんて素晴らしく、また重要であり必須であるかと改めて再認識しました。この「行事」は私自身だけのものでなく、すべての神の子の皆様との「行事」であると思えました。

私自身の早朝行事といえば、神様との対面であり、ご先祖様、お父さん、お母さんへの朝のあいさつの時間でし

たが、すべての神の子の皆様との共有「行事」であると思えた時、更にとつともなく偉大である「神様との行事」であると再々認識しました。
このコロナによって私に与えられた

〈神癒祈願のお礼状〉



姉と義兄の癌の治癒祈願が成就

D. A 〈女性〉

合掌 ありがとうございます

昨年より数か月、姉夫婦の癌治療の神癒祈願をお願いしていました。お蔭様で姉の乳癌は転移もなく、手術と抗がん剤や放射線治療をいたしました。副作用の苦しい時期もありましたが、今は体力も回復しつつあります。

神様の時間に「ありがとうございます」です。今日も私は魂が練成員に戻り、神想観を实修して、『聖經』を誦読させてもらっております。

ただそれだけが一番有難いことです。

義兄は姉の発病直後に、前立腺癌と判明しました。祈願のお蔭でホルモン治療法の効果が非常にあり、腫瘍マーカーの数値もかなり改善されたので、闘病中の姉を支えることもできました。

現在は夫婦共々笑顔が戻って心から喜んでおります。本当にありがとうございます。これからもこの幸せが続くよう、感謝の日々を送りたいと存じます。

交通事故のけがが順調に回復、万教婦一の生長の家に感謝

R. T 〈女性〉

十月に義理の兄が交通事故で肋骨骨

折、肺の損傷、鼻骨骨折、顔面強打の重傷を負い、祈願申込みさせていたいただきました。何より嬉しかったのは速達で申込みしたら、「神癒人型」が速達で送られてきました。祈願部の方の真心を強く感じたことです。八十九歳という高齢でもあり、回復はゆっくりでしたが、快方に向かいました。義兄は神道系の宗教の信仰者であります。神様は一つと私の祈りを喜んでくれました。今回ほど万教婦一の生長の家でよかったと思つたことはありません。

今はコロナ禍でお見舞いもかきませんが、毎朝、五時半からお祈りしております。義兄から電話があり、肺に通していた二本の管も外され、久しぶりに体を横にして寝られたこと、次の施設への移行準備もスムーズに運んでいると喜んでおりました。(後日、リハビリ病院への転院も無事できました)親代わりの様な姉夫婦をいつも尊敬しております。二人への感謝もできました。すべてがありがたく、必要なことでした。何事があつても実相があることに感謝しております。

妊娠六か月程の大きな子宮筋腫の手術は大成功

G. Y〈女性〉

合掌 ありがとうございます

娘の子宮筋腫の手術の際には、五か月間神癒祈願で祈って頂き、ありがとうございます。子宮筋腫は大変大きくて難しい場所にあるので、腹腔鏡下手術は無理だと言われました。手術予定の五月は、コロナ禍の時期ですべてが不安でした。娘のことが心配で自分だけで祈るのでなくて、神様におすがりしようと思い、神癒祈願をお願いしました。

すると私の心が落ち着いて安心してきました。娘は投薬治療を受け、子宮筋腫も小さくなったので、開腹手術から腹腔鏡下手術へ切り替えてもらえるようになりました。手術日が決まった時に、電話をして日時をお伝えするのとでさらに安心しました。

無事に手術は終わり、一週間で退院しました。それから定期検診に伺って

いましたが、今回で「もう大丈夫、一年後に来てください」とのことでした。娘は今、元気に仕事に行っており、毎日祈ってくださり、本当にありがとうございます。大安心でござります。

奥歯の歯茎の腫れと痛みが消えた

K. T〈女性〉

合掌 ありがとうございます

此度は、何か月もの間に亘り、奥歯の歯茎の腫れと膿、痛みが続いていましたので、神癒祈願を申し込みました。送られてきました祈願人型に同封されていた書類の中の「祈願中の心得」を読み、それまで自分が如何に自己中心的だったか、如何に感謝が足りなかったか、つつい暗い面に目が向いていたかなど、本当に反省することばかりでした。

そして心を込めて一所懸命に神癒祈願のお祈りをしてくださっている宇治別格本山の皆様にもありがたい気持ち

でいっぱいになりました。すっかり心得に沿う生活が送れるように努めて、一か月が経つ頃には、奥歯の歯茎の症状が良くなっているのに気がつきました。心より感謝申し上げます。

脊髄の検査異常なし、娘の出産祈願成就

S. C〈女性〉

合掌 ありがとうございます

今年六月に脊髄の検査を受けるにあたり、異常なしを神癒祈願させて頂きました。検査に間に合うように祈願人型を速達で送ってください、嬉しく感謝でいっぱいでした。お蔭様で検査では全く異常なしでした。神様、ご先祖さまのお導きと感じられ、誠にありがとうございます。

早くお礼状を出さなければと思います。三か月も経っていました。その間、身体の他の箇所にも不調を感じはじめ、また色々な不安や心配が湧いてきました。丁度その時に、祈願の礼状を

匿名で『宝蔵』に掲載可能かとの連絡が入りました。今までお蔭を頂いてばかりだったので、体験を是非お役立てくださいと快諾致しました。これを機に、掴んでいた現象を手放して「神は私の中にいて、私は生かされている。よい方向に向かう」と確信しました。

それと、娘の出産も無事に終わりました。六月の予定日前日、午後十時に出産を予定していた病院から「コロナ感染が起こったので明日は無理です」と連絡が入りました。急遽、以前長女が出産でお世話になった個人病院に連絡し受け入れてくださり、帝王切開で出産しました。二六〇〇グラムで生まれた時に呼吸をしていない状態でしたが、今は丸々太って元気そのものです。誠にありがとうございます。誠にありがとうございます。感謝です。感謝です。



令和2年12月12日写経奉安式

合掌 ありがとうございます
長い間腰痛で悩み、神想観も励み、祈願もお願いし、病院の薬や色々なサプリメント、運動等もしておりましたが、中々よくなり高年齢ということもあって、日常生活も不便で、施設入居準備の気力も体力も出ずに困っておりました。白内障の方も心配しておりましたが、こちらは祈願のお蔭で、手術も九月いっぱい無事に終わりました。

お礼の気持ちをお送りしましたところ、写経用紙一項目を送ってください、すぐに聖経『甘露の法雨』『神』の項を写経して送付させて頂きました。

長年の腰痛の悩みが解消され、白内障の手術も無事終了

N. M (女性)

〈写経のお礼状〉



すると、一昨日前より腰痛も消えて、気分的にも体力的にも活力が出て元気になり、やる気も出てきました。写経を奉納させて頂いたお蔭と感謝いたしております。

「新春書初め」の郵送申込みのご案内

「新春書初め」は、三密を防ぐため、郵送での申し込みとなりました。

受付期間 令和2年12月1日～同3年1月31日迄、

奉納金 200円以上(大人・子ども共通)

現金書留、または郵便為替にてお申し込みください。

尚、この期間、写経室はご利用いただけませんので、ご了承ください。

詳しくは、祈願部写経課(0774-21-2305)までお問い合わせください。

◆ オンラインによる対面個人指導（無料）を行います ◆

時間：毎日 9：20～12：00・13：00～16：00

担当講師：長田忍本部講師・清水志郎本部講師・榎本一子本部講師補・
岡田浩二本部講師補・千羽真平本部講師補
(担当講師のご希望はお受けできません)

条件：zoom かメッセージをご自分で繋げられる方

お申込み方法：メール rensei@uji-sni.jp または Facebook 練成部ページへ
メッセージでお名前（ふりがな）・電話番号・ご希望日時を
ご送信ください。

担当講師等、こちらより返信いたします。

1・2月練成会案内

一般練成会

~~1月13日~~ 中止 ~~19日(火)~~

長寿練成会

~~1月29日~~ 中止 ~~19日(日)~~

短期練成会

~~2月5日~~ 中止 ~~30日(日)~~

練成会は
令和3年3月
まで中止です。

1・2月宇治別格本山で行われる行事

- 1月1日(祝)～3日(日) 11:00～宝蔵神社新年祭(ライブ配信) ※無参列
11日(祝) 10:00～自然災害物故者慰霊塔月次祭 ※無参列
13日(水) 10:00～宝蔵神社月次祭(ライブ配信) ※無参列
全国流産児無縁霊供養塔供養月次祭 ※無参列
19日(火) 10:00～末一稻荷神社月次祭・精霊招魂神社月次祭 ※無参列
2月 3日(水) 11:00～第47回末一稻荷神社 初午祭 ※無参列
16:30～節分祭 ※無参列

※上記御祭へのご参列はご遠慮ください※



宗教学人生長の家宇治別格本山
京都府宇治市宇治塔の川32
Tel.0774-21-2151
www.uji-sni.jp/

ISO 14001 認証取得



この印刷物は古紙配合の再生紙を使用し、自然にやさしい大豆油インクで印刷しています。